

GP 北京 2017

参加記



2017/5/5（金）-2017/5/7（日）

北京科技大学 体育館

目次

この本について	2	日本円を両替して会場入り	20
GP 北京 2017 について	2	GP 本戦開始	21
参加を決め航空券と宿を購入	2	ランドステーションがカオス	22
		本戦通過できるかな？	23
		夕食とホテル	25
2017 年 5 月 4 日(木)			
出発の朝	5		
ままならぬ北京空港	5	2017 年 5 月 7 日(日)	
ホテルはどこだ	6	ドラフト三昧の日	26
ホテル周辺を散策	8	会場入り	27
そうだ、フーターズ、行こう	9	最終日イベント開始前の朝	27
ホテルに戻って就寝	10	日曜ドラフト ポッド 1	28
		日曜ドラフト ポッド 23	29
		日曜ドラフト ポッド 33	30
2017 年 5 月 5 日(金)		日曜ドラフト ポッド 48	31
GP 金曜日	11	日曜ドラフト ポッド 63	31
GP 会場まで歩いてみる	12	日曜ドラフト ポッド 69	32
銀行はどこだ	12	会場を離脱し、ホテルをチェックアウト	32
銀行で両替を断られる	13	北京空港へ	33
LCT シールド ポッド 5	14	空港で夕食	34
LCT シールド ポッド 10	14	朝までカフェ	34
足マッサージ	16		
ホテルに戻り就寝	18	2017 年 5 月 8 日(月)	
		まずは上海へ	37
2017 年 5 月 6 日(土)		那覇空港でのドタバタ	37
GP 本戦初日	19	台北空港で夜明かし	38
ホテルのバイキング	19		

この本について

本書は2017年5月5日（金）～7（日）にかけて中国北京市の北京科技大学体育館で開催されたマジック・ザ・ギャザリングのグランプリ（GP 北京 2017）にプレイヤーとして参加した筆者の記録です。現地の金額表記は原則として通貨の元（人民元）で行いました。為替レートでは1元18円くらいだったようです。実質20円くらいの感覚で使いました。

GP 北京 2017 について

GP（Grand Prix; グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に4回ほど開催されます。GP 北京 2017（※1）は中国の北京で2017年に開催された大会ということになります。Panda Entertainmentが主催し、会場は北京科技大学体育館（※3）でした。

※1 <http://www.pandaevents.cn/en/>

※2 <http://en.ustb.edu.cn/>

参加を決め航空券と宿を購入

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GPにはお金や有休に余裕があれば参加することを基本パターンにしております。GP 北京はこの条件を明白に満たすため、自分は基本2016年の秋に予定が発表された時点で行くことを決めておりました。

※ 1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の低い所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。

※ 2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。でしたが最近構築もそう悪くないなとも。

年明けからは筆者は某社に就職しており、さらに「GW 明け」からミャンマーに赴任することが決定していました。GP 北京に行くなとかいう話こそまったく出なかったものの、一緒に赴任する他の社員の関係などから「5 月 8 日（月）に那覇からミャンマーに向けて出発すること」という条件が加わったため、5 月 7 日（日）まで目一杯北京で遊ぶ自分にとっては、これは割とチャレンジな話になりました。結局、旅程はこうなったのです。

2017/5/4（木）	9:25	羽田発	全日空 961 で 3 時間 55 分の旅
2017/5/4（木）	12:20	北京着	

まあ行きは 1 月のうちに申し込んでおいただけに GW にしてはかなり好条件のフライトを押さえられた（しかも往復 5 万円程度で）のですが、問題は帰り。

2017/5/8（月）	6:55	北京発	吉祥航空 1252 で 2 時間 55 分の旅
2017/5/8（月）	9:50	上海着	虹橋空港(SHA)から浦東空港(PVG)まで移動
2017/5/8（月）	15:00	上海発	吉祥航空 1331 で 2 時間 10 分の旅
2017/5/8（月）	18:10	那覇着	
2017/5/8（月）	20:50	那覇発	エアチャイナライン 123 で 1 時 25 分の旅
2017/5/8（月）	21:15	台北着	
2017/5/9（火）	7:00	台北発	エアチャイナライン 7915 で 4 時 15 分の旅
2017/5/9（火）	9:45	RGN 着	ミャンマーに到着

つまり 5 月 8 日は **1 日 3 回飛行機に乗る** 必要があるうえ、北京も台北も早朝の出発であるので、これは **2 晩続けて空港で夜明かし** する必要があるということになった

わけなのです。なんぞこれ。

1月に申し込んでいた全日空の帰りの北京-羽田便はやむなくキャンセルしました。いい条件のフライトだったのに残念。

宿のほうは、1月の時点で Booking.com で会場にほど近い安宿であるように見えた「Jinjiang Inn Beijing North Taipingzhuang」（※3）を5月4日～5月8日まで予約していたので、これを変更もなくそのままキープして確定。

※3 <https://www.booking.com/hotel/cn/jinjiang-inn-beijing-north-taipingzhuang.ja.html>

月曜の朝にはもうホテルには居ないのですが、当日のスケジュールを考慮した結果として「日曜の夜にホテルを出て北京空港に向かう」ことにしたので、特にチェックアウト日を日曜に変更することもなく、このままで。

実は booking.com は「直前までキャンセル無料」なので、日曜にチェックアウトする予約を同じ宿に申し込み直すプランも一応検討したのですが、これもやはり1月の予約価格よりも直前だとかえって高くなってしまったことが判明したので、見送り。

まあ、日曜に会場を大荷物を抱えてうろうろしたくもないので、それでいいでしょう。

ともあれ、どうやら予定は確定したようで、あとは準備をして当日を待つばかり。



今回のホテル。
隣に銀行。

2017年5月4日（木） 出発の朝

5時半に起きて、6時前にスーツケースを引いて家を出る。

駅前で松屋めしを済ませて6時半に総武線。秋葉原と浜松町とモノレールを経由して何のトラブルもなく羽田空港に着き、7時40分チェックイン。セキュリティを通過してからイミグレの少し長い列に並び、8時過ぎにゲート107に到着。あとは待つだけ。

この時点で色々なモノを忘れたことに気がつくものの、まあ、どうにもなりません。

9時20分に搭乗し、何事もなく離陸。10時40分に、機内食の牛すき焼き丼（と称するなにか）を頂く。機内映画では「モアナ」を観ました。ああ、神話ですねえ。

日本との時差はマイナス1時間。日本時間13時10分、時計を戻しての現地時間の12時10分に北京空港に到着しました（ここからは現地時間で記します）。

ままならぬ北京空港

10人ほどのイミグレを一瞬で通過し、シャトルに乗って手荷物受取場所まで移動して、12時50分に荷物回収。空港内両替所で3万円を出し1628元。1元18.4円。メロスはレート的高低がわからぬ。何にせよ、ますます順調だったのはここまででした。

最初にせっかく日本で購入しておいた香港SIMを忘れたので空港内でSIMを求めると、中華電信のSIMが公共案内所のような所で扱っているのみで他の選択肢もなかったのもので、150元を支払って購入。しかし覚悟はしていたものの、googleもtwitterもできません。2年前と同様にmixiとyahooジャパンは使えました。ま、ないよりマシな程度。

さらにコンビニでまず「北京市内地図」を買おうとするも、どうやら「地図は**ない**」というのに気がついて愕然。えっ？ まさかと思い空港内でいろいろ聞くなどするも、結局ダメなので、ともあれエクスプレスで市内まで移動することにしました。エクスプレスのカウンターで「地下鉄路線図」を発見しゲット。これだけでも無いよりだいぶマシです。

25 元払って 14 時にエクスプレスに乗車。車内で S 木原さんと会い驚く。同じ飛行機であった模様。

お互いまずチェックインということで、別れて自分は「三元橋」駅で 14 時 30 分に下車。

さて問題はここからだが…とりあえず最寄り駅と目される地下鉄 10 号線「牡丹園」駅まで移動する。

4 元。まあ安い。改札前に手荷物をセキュリティに通すのは中国の作法として受け入れるしか仕方がない。構内案内の路線表示はわかりやすい。



ホテルはどこだ

地下鉄の牡丹園駅を出るが、西も東もわからない。ホテルの場所をマークしていたはずのグーグルマップは使えない。そしてホテルの地図のプリントアウトの類を持ってくるのを忘れた（これが致命的な**大失敗**）。幸いにして Gmail のスマホの履歴は閲覧可能だった（はっきり言ってこれが無かったら詰んでいました）ので、やれやれと思ってタクシーを拾ってそのメールのホテルの住所を見せるも**英語住所が通じない**。しばしパニックになり、その住所を自力で中国の住所に訳そうとするもダメ（簡体字だし当然だろう）。ここで「申し込み時に地図を見た記憶だとあの辺だったよな」と思って、地下鉄路線図に「この辺」といい加減な記憶に頼って丸を書いて移動して貰い、近くまで着いたら残りは足で探すという中国のスケールをまるで無視した、いくらパニックになっていたとはいえ、今から思うに事態を悪化させるだけの**最悪の行動**をチョイス。

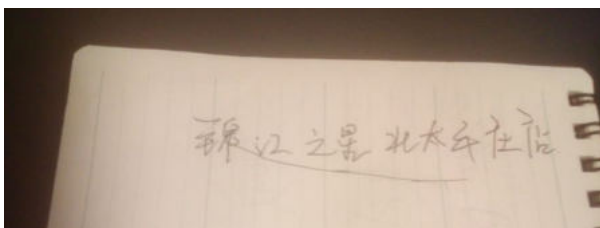
結果的にホテルはこの牡丹園駅からも徒歩 10 分圏内にあったので、正解は「タクシーに乗らずここで聞きまわる」ではあった。ていうか我ながらさすがにこの行動は無茶だ。

タクシーは数分走ったうえで、どこかの交差点で止まった。「？」と思ったら、目の前に交番。なるほど。礼を言ってチップ込み 18 元を払ってタクシーを降りる。

やれやれ、と思い交番に入って、ホテルの住所（英語）を見せて「このホテルに行きたいのだが」と伝えるも通じない。ていうか警官に英語が通じない。メモに「地図」と書いてこの付近の地図を見せてくれないかと聞くと**地図はない**とのこと。えっ？交番だよなここ…。まさかこんな所で「プリズナー No.6」ごっこをする羽目になるとは。

そうこうするうちに警官が「学生」と書いて外を指さす。なるほど。その辺を歩いている学生なら英語が通じるからまだ何とかなるかもな、の意味だな。交番を出る。

さっそくそのへんの若い人に英語で話しかけてスマホの英語住所を見せて、しばらく悪戦



苦闘ののち眼鏡の若い女性が、手元スマホでホテル名を検索しどうやら正解にたどりつく。

その学生に、ホテル名を紙に**漢字**で書いて貰う。ありがとうありがとう眼鏡っ娘。

交番に戻り、その紙を見せる。今度はどうやら通じたようで、通りを指して「あっち」と伝える。同時に指で「2」と示すが意味が分からない。2ブロック先？ タクシーを拾い運転手にこの紙を見せるも通じない。うーん…とりあえず歩いてみるか。

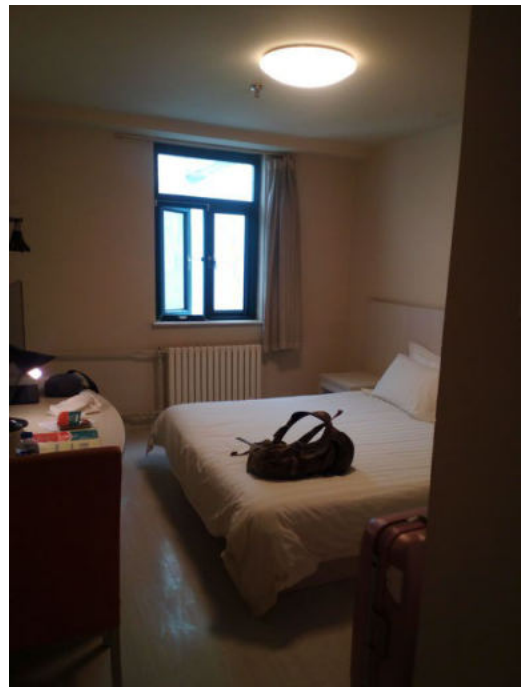
そのまま2ブロックほど歩いたような気がするが、それらしい建物が無い。仕方ないので再度ヒマそうな兄ちゃんに声をかけホテル名のメモを見せる。英語は通じた。兄ちゃんはスマホで調べてこちらに地図を見せ「これだね」と伝えてくる。ビンゴだ！！！！どうやらホテルにたどりつけそうな予感。道を聞くと、同じ方向を指さして「あっちだ」と伝える。警官情報は合っていた模様。さらに距離は3…とか言ってきたので「300m？」と聞くと

「**3km**」と言ってきたので盛大にずっこける。警官の「2」とはいったいどういう意味だったのか。まさか**2里**か。それとも**Vサイン**か。兄ちゃんと「タクシーを拾うべきだろうね」「タクシーにこの紙で通じるかな？」「…通じるかも」という会話。ともあれ兄ちゃんに感謝しつつ別れる。

タクシーを拾ってメモを見せる。今度は通じた。そのまま乗り込み、しばらく走った後に狭い路地に入り、目的地に到着。なんとかなったあ！

ホテル周辺を散策

時計を見ると 16 時。1 時間半くらい迷った計算。ともあれホテルに入りカウンターの女性と不十分な英語で会話。予約は入っているようでパスポートのコピーをするが「現金 1300 元払え」と言ってきたので「いや料金はエクスぺディアに払ったはずだ」としばらくの押し問答のすえ、デポジットのことであると判明。英語が十分通じないとやはり辛いな。



チェックアウトの時に 1200 元返すということで、それなら別に構わないのだが、しかしここで 1300 元を払った結果として、財布の中は 200 元も残らない状態に。しまった。明日にでも追加の現金を確保せねば。町中に両替商とかあるのかなあ。ホテルの部屋に入る。部屋はかなりまともで安心。

16 時半。まだ昼飯も取っていないのでとりあえず近くで飯にすることにし、フロントで「family Mart」「7/11」とかのメモを見せると「あっちに歩いて 5 分の所にスーパーマーケット」があると聞く。行ってみると、それらしい建物に到着。

…うーん、これが「スーパーマーケット」？ どうもショッピングモールみたいで、中に区割りされた安い雑貨屋がたくさん。これはこれで趣があるが、今は安いショッピングを楽しむ財布と心境ではなく。それより飯でもあり。



そのままさらに歩いて表通りに出ると地下鉄の「健徳門」駅の付近に食堂街のような並びを発見したので、適当な飯屋に入り、テーブルに座ってコーラと串焼き鶏 2 本と焼きナスを注文。30 元。コーラがぬるくて串焼きに骨が入っていた以外はだいたい想定通り。

そうだ、フーターズ、行こう

小腹がふくれて落ち着くと 17 時。これからどうするか。まだ外は明るい、もう当初のプランの動物園どころではない（第一、もう閉園している頃だろう）。

そこでふと「そういえば北京にフーターズはあったのでは」と思い、ヤフーで検索するとヒット。同時に住所の漢字表記もゲット。これなら何とかなりそう。これはフーターズに行かねばなるまい。店員に漢字住所を見せ「ここに行くには地下鉄のどの駅で降りるのが良いでしょうか」と聞くと、しばらく手元のスマホで調べたうえで 6 号線「東大橋」駅を示してくる。よし。礼を言って店を出る。

ただちに地下鉄「健徳門」駅に入り移動開始。10 号線で「東大橋」駅の 1 駅東隣にある「呼家楼」駅までたどりつけることが分かったので、わざわざ 1 駅のために乗り換えするよりは、ここで降りて西に歩いて探してみるか、この辺は繁華街みたいだからウインドーショッピングも楽しめるかもしれないな、とまたしても**中国のスケールを無視**した無謀チャレンジを試みて、駅を出るなりたちまち後悔。方角くらいは合っていると思えたものの、地図もなくよく分からない巨大なビルばかりでウインドーショッピングもくそもない。失敗。途中で銀行などあるも、当然ながら窓口はもう閉まっていて両替もできない。やむなくタクシーを拾って、先の住所を示してフーターズの最寄り駅の交差点まで移動。

例によって交差点から「どっちに歩くんか」問題が発生したものの、19 時フーターズに到着。やれやれ、なんとかなったあ！ 手持ち現金はもはや 100 元もないので、まずは入店して「クレカは使えるか」と聞くとところからスタートする。あとは料理を頼んでから



コーラをお代わりしつつmgmg。

さらにグッズを誰何。マグカップを出して貰うが「北京」とか書いてなく「中国」としか書いてないので、これは2年前上海で買ったのと同じかな…と思いつつも、購入。

総額マグカップ込みで115元。まあ、クレカ払いとしては問題ない。

ホテルに戻って就寝

フーターズを出る。満腹にもなったので少しそのへんをぶらつくか…と思い少し歩くも、夜間やってる民間両替商もないし、アダルトショップはあったものの女性の下着類くらいしかないし、飯屋はたくさんある（火鍋もたくさんある）けど今は用なし、ということで帰ることにする。ここで再度盛大に「地下鉄駅はどっちだ」問題でうろうろ迷ったすえ、かなり歩いて20時過ぎに地下鉄駅を発見。やたらとだだっぴろい北京の市内。

ここは2号線の「東四十条」駅であることが判明。選択の余地などないので「健徳門」駅までの切符を4元で買い、乗車。鼓楼大街駅で8号線に乗り換え、北土城駅で10号線に乗り換えて「健徳門」駅に到着。交差点の4つの出口を見比べて方角を確認したすえ西へ。やがてさっき飯を食った食堂街を発見。よし。あとはこっちだ…と思いつつ「スーパーマーケット」を発見。ついでにその薬屋でマスクを買う。さらに西に歩いて、ホテルに到着。やったあ。これでどうやら明日からは自力でホテルまで帰れるな。

さらにホテルの向いに「スーパーマーケット」の看板があったので、そのブロックに入り、ほどなく発見。フロントの女性の「東へ5分歩く」案内は一体なんだったのだろうか…。ともあれスーパーマーケットでポテチとコーラと冷水を購入して21時半に部屋に戻る。

部屋でシャワーを浴びる。熱いお湯が出るので気分がだいぶ爽快に。荷物を解いてPCを取り出し、変圧器をコンセントにさして接続して起動。とはいえくた。無駄に歩きすぎた。

ペットボトルの水とコーラをがぶ飲みして22時過ぎには就寝。

2017年5月5日（金） GP 金曜日

5時。まだ真っ暗だが、さすがに睡眠は足りているようなので起きる。PCを起動して、昨日の日記書きから。PCからだどDropBoxが普通に使えるな。スマホアプリのせいかな。ポテチをつまみつつ日記を書くと6時半。明るくなってきた。そろそろ活動を開始しよう。

本日の予定は、9時？にホテルの隣の銀行が開くようならそれを待って両替のち、会場に移動だろうか。まだ時間はだいぶあるので、朝の散歩がてらにどこかで朝食にするかな。財布の中は30元ほど。たぶん朝食には十分。昨日は現金300元＋フータース110元を使った計算だ。どちらにせよGPサイドイベント参加もできないので現金は必要。

タクシーに乗るための準備に、手帳にデカデカと「北京科技大学体育館」と書く。これでさすがに伝わると思うがどうか。タクシー初乗り13元。惜しむ金額ではない。

7時になったので、服を着て朝飯を食いにすることにする。

部屋にペットボトルの水が2本あったのでフロントで「あれは無料なのか？」と聞いたら、うまく通じなかったようで、カウンターから取り出して1本くれた。無料だな（笑）。

ぶらぶら歩き、やがて現地のひとも利用しているとおぼしき汚い食堂に入る。

良く分からないが指さして注文。

肉餃子美味しいです。お粥はほぼスープ。

お値段は8元。これこれ、こういうのが僕は現地飯として食べたかったのですよ。



今朝は非常に風が強い。砂埃なんだかPM2.5なんだかで、とりあえず目を空けていられないほどの酷い状態。みんなマスクをしている。ぼくもしている。※結局のところ、この朝のコレはやはりPM2.5で、現地TVのニュースになっていたくらいの酷い状態でした。

GP 会場まで歩いてみる

朝食を済ませてでもまだ 8 時なので、ここでまたホテルに戻って 9 時までホテル横の銀行が開くのを待つのもなあ…と思ったため、ひとつ今日は会場まで歩いてみるかと**懲りずに**考えてしまう。荷物もなく距離 1km くらいのはずだし。GoogleMap は使えないものの、方向は合っているはずだ…と時折メモを見せて道を聞きつつ移動。途中いくつか営業前の銀行を横目に、どうやら目的の「北京科技大学」にたどりつく。

とはいえ今回は迷いこそしなかったものの、基本、すべての道はでかい建物の外壁沿いに歩くだけで風景が変わらず「まだまだかな」感が強いし、何よりもちっとも歩いていて

面白くない。明日からは素直にタクシーを使うことにしよう。

9 時に北京科技大学の南門から入って体育館を目指すと、途中で彼女とジャッジホテルに向かうべく外に出る Q J と会う。嬉しい友との出会い。QJ に体育館の方向を確認して、ついでに「近くに銀行はないかな」と聞くと、Q J は地図を検索したうえで「中華銀行が大学を出た西にある」と教えてくれた。感謝して別れる。

ほどなく GP 会場の体育館に到着するが、入り口がしまっている。10 時開場なのかな。

実はこの入り口は常に閉鎖されていて、別の入り口から入るとすでに会場には入れた。

銀行はどこだ

どのみち会場に入れてもサイドイベントを遊ぶ現金もないので、10 時まで銀行を探してみることにする。北京科技大学を西門から出て（この時点で何百メートルかを歩いた）、道路を横断して北京地理大学の構内に入り、周囲の人間に中華銀行の位置を聞きまくるも、ここでまたしても**盛大に迷った**。筆談を交えて周囲のひとや警備員のひとに聞くも、どうも答えがまちまちで同じところを行ったり来たりする羽目になる。後から考えるに、

どうも「A T M」を案内したひとと「建物」を案内したひとが混在していた模様。
天気も良く大学の構内の景色は良く北京地理大学の学食にも興味があったものの、それを
楽しめる余裕は今はない。そして時計を見たら 10 時をとうに回っていた。タイムアウト。
もう人民元は利息を気にせず A T M で調達することにして会場に入るべく戻ろう。

銀行で両替を断られる

北京地理大学を出て北京科技大学の北側大通りを東に向かうと、ふと「郵便局」の 2 階に
「銀行」の表示が見える。をっ、これはギリギリでクリアできるパターンか？
とりあえず向かってみる。2 階の窓口で少し待って自分の番になる。

さっそく行員に「日本円を人民元に両替したい」と 3 万円の現金を渡す。

行員が「パスポートを」と提示を求めたので普通に提出。やれやれ、これでどうやら現金
調達ミッションもクリアかな…と思って待つと行員がパスポートと出国時に渡すカードを
返してきて「VISA はないのか」と聞いてくる。VISA なんてないので「ない」と言うと

「お前は外交員か」と聞いてきたので「違うが」と答えると「**VISA がないのなら**

両替はできない」と言われて絶句。なんだと。

パスポートの判子を示し「俺は昨日 4 日滞在予定で入国したんだ VISA なんて日本からの
短期入国時に要求もされないから取得もしてない」と怒気も交えて述べるも「お前が何日
中国に滞在する予定なのかを示した公的な書類がないと両替はできない」の一点張り。
なんだそれ。押し問答も無駄なようだったので、現金を返して貰い「もういい、A T M を
使う」と怒鳴って銀行を後にする。むかついたー。

のちに普通の銀行で両替した際にはそんなものを要求されなかったもので、これは郵便局
銀行という「民間でなく政府の銀行」だからなのかなー、とは思った。

徒歩で会場まで戻り、途中にあった ATM で 1000 元おろす。このさい利息は無視。

LCT シールド ポッド 5

会場に着くと 11 時。ちくしょう出遅れた。気を取り直して LCT シールド 5 にエントリーする。さらにバイヤーブースで英語カードリストのため「バンドル」を購入。

待ち時間にプレミアム特典のプレイマットは貰えないか？と聞くと「12 時から」とのこと。うん、まあ別にそれで構わないよ。

ほどなく立った LCT シールドに参加。

なんかマスターピースがキター！ まあマスターピースのうちでは残念組だし、他のレアは酷いものなのですが。

ほぼレアを無視して黒赤で組み、1 没。

それでもアーリーバード特典の 80 チケをゲット。次いこ次。

《Attrition》
《選定された行進》
《新たな視点》
《多面相の侍臣》
《リリアナの支配》
《収穫期》
《ルクサの恵み》

獲得レア

LCT シールド ポッド 10

ただちにポッド 10 にエントリーして、受付をしてウェザーライトのプレイマットなどゲット。ドラフト券が 3 枚とアーティスト優先券 1 枚。

会場内の売店でハムチーズクロワッサン 20 元。ドリンク 3 元。うん、これでいいです。

シールド構築開始。まずはレアチェック。

なんかマスターピース来たー！ しかも今度はまあまあ。

1 日のシールド 2 回でマスターピース 2 回。 こんなことあるのか。明日の運を使い切っていないか俺。

《Vindicate》
《威厳あるカラカル》
《秘法の管理者》
《戦慄の放浪者》
《名誉あるハイドラ》
《貧窮+裕福》
《大瀑布》

獲得レア

構築は青緑タッチ赤で。

Creatures: 15	Spells: 9	Lands: 16
《迷宮の守護者》	《マグマのしぶき》	《大瀑布》
《ター門の散兵》	《研ぎ澄まされたコペシュ》	《進化する未開地》
《修練者の相棒》	《本質の散乱》 * 2	《島》 * 7
《ナーガの生氣論者》	《錯覚の覆い》	《山》
《古代ガニ》	《活力のカルトーシュ》	《森》 * 6
《気性の荒いクースー》 * 2	《蓋世の誉れ》	
《水流織り》	《大水》	Sideboard:
《エイヴンの修練者》	《主張》	《オアシュラの耕作者》
《秘法の管理者》		
《横断地のクロコダイル》		
《名誉あるハイドラ》		
《鱗ビヒモス》		
《大いなるサンドワーム》 * 2		

構築デッキ

Round1 Wenさん 白青黒 OO

順調に勝ち。

Round2 LinJinさん 赤緑 xOO

G1 5枚目まで森を引かない事故で負け。

G2 まあ勝ち。

G3 なんとか勝ち。

Round3 Stockさん 白青黒 xOO

G1 黒試練など、こちらのクリーチャーを続々除去されて負け。

G2 《オアシュラの耕作者》をサイドインして生物を増やすなどして勝ち。

G3 まあ勝ち。最後は相手のスフィンクスに呪文2発を叩き込んで除去。

Round4 ?さん 黒赤緑 OO

順調に勝ち。これで4-0。次の最終戦に勝ち越せば2BYE獲得。

そして対戦相手が決まる。さて…と思ったら相手が「ご相談が」とのこと。

聞くと、明日は本戦に参加しないのでトスするとの申し出。快諾する。

このLGPTでは1位480チケ、2位720チケが出るのだが、BYEが欲しければこちらのチケットを全部よこせという話でもなく、2位のチケットを普通に受け取って離脱したいとのこと。やはり2バイは欲しいので反対する理由がないので合意。

勝利の確認とチケット受理のち、向こうから要求はなかったものの、自分の480チケのうち80チケを「感謝の気持ちに」と伝えて渡す。20チケで1パック。惜しむほどのものではない。こういうことができるからプライズチケットは紙の券のほうがいいね！

ともあれこれで**明日の本戦は2BYE**ですよ。やったあ。今日はツイてたなあ。

なおLGPTの「全勝」デッキだということで、ウィザーズの公式に載りました。

<http://magic.wizards.com/en/events/coverage/gpbei17/grand-prix-trial-winning-decklists-grand-prix-beijing-2017-05-06>

足マッサージ

LCTを終えるとギリギリ19時を回ってしまい、サイドイベントにもう参加できないので、今日はここまでとして会場を後にする。

会場を南門から出て迷わずタクシーを拾う。ホテル付近の略図を見せても今ひとつ先方が分からない感があったので、それでは近くまで行って貰うことにする。何キ口かを稼げて方向が合っていればそれでいいや。

タクシーを少し走らせて、運転手が「このへんかな」と言ってきたので適当に止めて貰う。…さて、ここはどこかな？（笑） ま、夕食がてらに散策しよう。

目の前には「足マッサージ」の看板のある大きな建物。うん、値段によってはありだな。入場する。豪華なフロントの構えに「ははあ、ここはアレだ、おそらく性的なオプションサービスもやっている店だな」と理解するも、とりあえず入り口の男にメニューを見せて

貰う。一番安い足マッサージは1時間で118元。うん、これでいいや。メニューの中にちらりとチャイナ服の女性の写真と2000元とか3000元とかいう数字が目に入ったが、見なかったことに（笑）。店員はもっと高い奴にしろとも言っていたようだが、無視して一番安い足コース「だけ」ということを念を入れてオーダーする。

ともあれ入店。奥の個室に通され、白湯を飲んで椅子に座り、うつらうつらして待つ。

格安コースのマッサージ師は上海の時のようにおっさんを覚悟（GP上海2015本参照）だったものの、入ってきたのは普通に整った顔立ちの若い女性。を、なんだか**得をした**気分だが、これはアレか、後半で「スペシャルマッサージ」を勧めて来るパターンかな？中国語で言われても通じないが、あるいは200元程度なら応じる余地があるいは（笑）

言葉は通じないが身振りで靴と靴下を脱いでズボンを膝まで上げての足湯。足湯の間は、肩揉み首揉み背中揉み。をを、これは非常にありがたい。気持ち良いね。

そしてメインの足揉み…の前に、マッサージ師が自分の足の指の爪（=ひどい巻き爪）を見て声をあげ、隣室に行って爪切りを持ってきて足の爪を切ってくれる。追加料金の類を要求されなかったし、そのままさせるに任せる。

あとはひたすら足のマッサージ。パンパンのふくらはぎには手を出してくれず、足首から先のみ。これはちょっと残念かな。でも強い指圧ぎゅーできもちいいです。最後は何やら半球に火を入れて真空にしてキューっと足裏にそれをくっつけてポンしたり。

そのまま1時間が経過して終了。あれれ？「スペシャルマッサージ」のお勧めは？

ぼくきっと後半になったら、この女性が身体を密着させて、ぐいぐいとおっぱいで背中を押してきて太ももにも触ってきて「あと〇元払うとキモチイイヨー？」と言ってくるのを断る攻防戦が始まり、背中のおっぱいの感触だけ**無料で**楽しむつもりだったのに（笑）。

会計を済ませる。爪切りなどの上乘せもなく118円で拍子抜け。**良心的**だなここは！

ホテルに戻り就寝

マッサージも終わったので、ではホテルを探そう。手元の略図をもとに聞いて回ったりして、なんとかそれほど迷わずに（少しは迷った）21時20分、ホテルを発見。ではまず夕食を済ませよう、ということでホテルの目の前にある食堂に入ってメニューを指さし辛そうな肉湯麺をコーラと一緒に注文。

…さて、どうかな？ それほど多くない謎肉と、割と一杯めの野菜が入っているピリ辛スープの湯麺。

うん問題なくおいしいですもぐもぐ。

スープの中の麺と謎肉と野菜をどうやら全部食べたので、あとは適当にスープを



飲んで適当に残して終わりにするか…と思ったものの、ピリ辛スープが存外おいしいので、そのまま蓮華で飲みのみして、最後は丼を両手で抱えて全部飲み干してしまった。完食。いやおいしかったー。コーラ込み27元ならぜんぜんオッケーだわコレ。

ではあとはスーパーで今夜の飲み物とつまむものを買って帰ろう…と思ったが、どうやらスーパーは21時半に閉店した模様。むう。仕方ないのでぶらぶら周囲を歩いてドラッグストアで飲み物とつまむ物とティッシュペーパーを購入。45元ほど。

さらに屋台でおばちゃんが焼いている肉の串を3元。これは猪肉のようだった。

（猪肉の常として、固くていまいちでした）



22時過ぎ、ホテルに戻る。

シャワーを浴びてのんびりマジック日記を書くと、日付が変わった。

では寝よう。明日はいよいよG P本戦なのだ。

2017 年 5 月 6 日（土） GP 本戦初日

5 時。まだ寝ていても良いのだが、目が覚めたので起きる。昨日のぶんのマジック日記をまとめると 6 時過ぎ。外は明るい。スリープイン 2 バイは 11 時半に会場到着で良いが。財布の中身は 150 元ほど。昨日は 900 元ほど使った計算。シールド 1 回で 200 元だしね。今日は終日本戦で、明日はおそらくドラフトチケット 3 枚を使うだけでも手一杯。従ってこの現金でも十分なような気もするが、どのみちデポジットは明日の晩に戻れば余るし、何にせよ現金不足で不自由はしたくないし、人民元は途中の上海でも使うだろうしなので、やはりここは「普通の銀行での両替」も試してみるべきだろうと判断。

ということは、今日はやはり 9 時に「ホテルの隣の銀行」が空くのを待ってから、窓口で日本円の両替を試みてからタクシーで会場入りし、朝食はホテル周辺で済ませよう。

…にしても、まだ 2 時間以上あるな。

さらに PWP を計算すると、昨日の 5-0 と今日の本戦 2 バイで 2250 点を突破したことが判明。よし、これで来年は確定 2 バイだ。あとは GP 北京は PWP は気にせず遊ぼう。

ホテルのバイキング

明日の予定を調べたり軽く荷物を整理すると 8 時を回った。そろそろ朝食にしよう。

朝食のためホテルを出ようとしたら、1 階の食堂でバイキングをやっていることが判明。宿泊客への料金は 18 元。惜しむほどの金額ではないし試してみることにする。支払いはチェックアウト時に精算。うん、それでいいです。

受付を済ませて入ってから、適当に並んでいるものを盛る。オレンジジュースがホットで出てきたのだけは想定外。

コーンがちっとも甘くなくてまずかった（残した）以外は、お粥（おいしい）も玉子焼も

メロンとヨーグルトも食べられる味。
全般に質はイマイチだが食べられない
ものではなく値段相応の感。
面倒がなく体調に合わせて好きなだけ
腹を満たせるのはそれなりにメリット
なので、明日もこれでいいかな。



ホテルのカウンターに「明後日まで借りているけど明日の夜にチェックアウトするよ」と伝える。念のため「夜だけデポジットの現金は戻ってくるよね？」と聞いたら、相手はどうも「一晩ぶん**値切りたい**」と受け取ったのか、少しだけ食い違うやりとりが発生。…まあ、市内のホテルで夜間に現金 1200 円をカウンターに置いていないという可能性は、さすがにこちらが心配しなくて良いようだ。

日本円を両替して会場入り

そういえば今日は土曜だから銀行はやってないのでは…と一瞬思ったらホテル隣の銀行はやっているようだったので、それでは両替を試すことにする。9 時の開店を待って入店。入口のカウンターで用件を伝えて整理券を貰い、すこし待つ。パスポートを出して、窓口越しに承認ボタンを押したり必要なサインなどして 9 時過ぎにミッション達成。
1 万円を 592.55 円に変換成功。1 円 16.87 円。VISA を見せろとは一体なんだったのか。

表通りに出てタクシーを拾う。見覚えのある道を北上。これを歩いたとか昨日の俺は馬鹿じゃねーのな感。二度とやるまい。初乗り 13 円で到着。
10 時に会場入り。すでにプレイヤーミーティングは終了し 1 回戦のためのデッキ構築が始まっていた。スリープイン受付。11 時 30 分に来いとのこと。ふむ。

時間があつたので会場を出て構内の本屋に入り、筆談でレジに聞いて北京の地図をゲット。普通にあるじゃん。10 元。でもどこのコンビニにでも売ってると思ったよこんなの…。ていうかどうやら北京には「スーパーマーケット」はあっても「コンビニ」はないよね。同じ建物の地下にスーパーマーケットを確認。帰りにホテルでつまむ物はここで買おう。まだ時間があつたのでトイレで大きい方を済ませておくか…と思ったもののトイレは暗く和式で、紙はトイレの外であらかじめ使うぶんだけ切る方式。うーん…よほど切羽詰まらない限り、これは利用しなくていいや。大きい方は朝晩のホテルで済ませる方針で。11 時 20 分に戻って着席して普通に構築開始。

GP 本戦開始

まずはレアチェック…あかんやろコレ。

緑にファッティも居なかったなので、青赤で組む。

いちおうインスタントとソーサリーの個数シナジーは意識したけど、どうかなあ。

《秘法の管理者》
《ドレイクの安息地》
《リリアナの支配》
《媒介者の修練者》(フォイル)
《食餌+給餌》
《蓋世の英雄、ネヘブ》
《泥濘の峡谷》

獲得レア

Creatures: 13

《洞察の探求者》
《ターー門の散兵》*2
《道拓きの修練者》*2
《古代ガニ》
《ミノタウスの名射手》
《奇怪なドレイク》
《エイヴンの修練者》*2
《戦炎の投槍手》
《象形の守り手》
《微光鱗のドレイク》
《砂漠セロドン》

Spells: 11

《マグマのしぶき》*2
《本質の散乱》
《投げ飛ばし》
《突風撃》
《激情の試練》
《ヒエログリフの輝き》
《感電》
《蓋世の誉れ》
《主張》
《驚異への入り口》

Lands: 16

《島》*9
《山》*7

構築デッキ

Round1 BYE

Round2 BYE

Round3 Yuさん 白青 ××

G1 土地が2枚で止まって死亡。

G2 相手がいちいち有効打を引いてきて負け。

13時20分、自分のラウンド3は終了。

ナッシュと雑談。直前BMOで聞いていた通り、GP北京での唯一の日本人ジャッジの筈だったとりなはやはり体調不良でジャッジをパスしたらしい。それを受けてナッシュが「この会場で日本語できるジャッジはワタシだけ！」と抜かしたので「Q」もいるぜ」と返す。※ハンスとか、他にも大勢います。

プレミアペアリングの前でS木原さんと雑談するうちラウンド4のペアリング掲示の発表。しかしプレミアペアリングは張り出されず、多くのプレイヤーが着席をして間もなく開始される気配。これで不戦敗にはならないだろうとは思っても、慌てて一般の掲示に向かい、座席番号を確認して着席して対戦開始。やれやれだぜ。

後でSKに聞いたら「印刷し忘れた。次からはちゃんとやる」とのこと。おいw

ランドステーションがカオス

Round4 Wuさん 黒赤緑 ○×○

あぶなげなく勝ち。

14時50分、自分のラウンド4終了。ちょっとラウンド間の待ち時間が長いかなあ。あと

正直なところ床とか机の上とかにもペットボトルなどの放置も多く非常に汚い印象を受けます。加えて今回のリミテッド環境に限ると、アモンケットで採用されている「-1/-1 & 石材」「督励 & 不朽」チットの紙屑が机上に散らばるのも汚さに拍車をかけています。



そしてリミテッド GP でおなじみの**平地と森が足りない問題**に対しても、ランド

ステーションに基本土地セットのパックが置かれただけなので、皆がパックを空けて平地と森を抜き取って残りを机の上に放置し、その中から別の人々がさらに平地と森を探している結果、ランドステーションがカオスに。

正直なところ**床に散らばったカード**が放置されたままという光景は見たくなかった。

本戦通過できるかな？

Round5 Zhaさん 黒赤緑 O××

G1 スフィンクス無双で勝ち。

G2 相手の呪禁 6/7 をどうにもできず負け。

G3 前半でマナが詰まり気味の際に、どうせ呪禁 6/7 には効かないしなあ…とさっさとコンマジをサイクリングしたら、結局その後では膠着して伸びた結果、今度は相手の5マナ 5/5（コモン）をどうにもできず押し切られ。あのコンマジがあれば！

Round6 Zhagさん 白緑 O×O

G1 相手の土地が2枚で止まって勝ち

G2 山をなかなか引かず手札の赤が腐って負け。相手にギデオン登場。

G3 相手にギデオンが出て、こちらの5/3飛行が無力化されるも、他の奴でも殴りつつ相手のライフが5になったところで5/3を投げ飛ばして勝ち。

17時20分には（3マッチ戦った）自分のラウンド6が終了しても、それから18時になってもラウンド7が始まらない。長江のような時の流れ。

Round7 Zhagさん 青緑 O×O

からくも勝利。今回の決め技は最後に殴ろうとした飛行3/2に除去が飛んできたところを投げ飛ばして本体3点で勝利。やはり投げ飛ばしは強い。

ラウンド7が終了して18時50分。これで5-2。あと2回のうち1回勝てれば初日通過だが、どのみち21時にはなりそう。

そして実のところ、この頃には「勝てば2日目」であり決勝ドラフト2回を楽しめるが、貰ったドラフト無料券3枚がまるまる無駄になる。負ければ明日はドラフト3回できる。実のところ今年のPWPはもう足りたしマネーフィニッシュは無理だろうから「もしかして負けたほうがお得ではないか」とかいう邪念が浮かぶ（笑）のだが、しかしまあ「2日目進出=ブライスレス」なので、このまま行くことに。

Round8 Jianさん 白赤緑 ××

G1 向こうのタッパーが出てきたり5/5を対処できなかつたり追放されたり。

G2 5/5が2体出てきて対処できなかつたり。

19時40分、自分のラウンド8終了。

Round9 Qlanさん 黒赤 ×O×

2015年のGP上海で対戦した相手らしく、向こうがそう言ってきました。おそらく事実なのでしょうけど、うん、ごめんなさい覚えてないです。

G1 土地が4枚で止まり負け。一番の敗因はおそらく土地が伸びてないのに5マナ3/4ドレイクを惜しんでさっさとサイクリングしなかったこと。

G2 スフィンクス無双して勝ち。

G3 土地が4枚で足踏みし、ドレイクをサイクリングせず（略）。

21時10分に自分のラウンド9終了。うん、残念の5-4（人間相手は3-4）。

とはいえこれで明日は無料ドラフト3回コースに確定です。マジックたーのし！

夕食とホテル

ただちに会場を離脱。大学構内のさっきのスーパーに寄るとまだ開いていたので、今夜の飲み物や食べ物などを購入。

大学の東門から出てタクシーを拾って健徳門駅を指定。昨日あてにならなかったホテルの周辺の略図は通じなかったので、自力で帰れる最寄り駅指定で行くことにする。すんなり着いたものの、割合と大回りも必要な位置であり料金は14元にアップ。ま、問題ない。

健徳門駅の大通りの店で夕食にする。昨日と似たようなメニュー。ラー油をベースにしたスープは昨日同様おいしいのだが、この店の具材があまり自分の好みの味つけではなく、謎肉もイマイチ。

麺と具材をほぼ平らげて終了。



22時20分にホテルに帰る。

シャワーを浴びて、今日のマジック日記を途中まで書いていたら日付が変わった。

続きは明日でいいや、寝よう。

2017年5月7日（日） ドラフト三昧の日

5時。外が明るくなってきた目が覚めたので起きる。

トイレが詰まっていることが判明。昨夜の大きいのが流れていない。ありゃー。俺なにもやってないよ？中国は台湾と違って紙は流しちゃいけないきまりもない筈だし。とりあえず臭わないよう蓋を閉めて、あとは部屋メイクに任せるしかあるまい。

PCを起動して日記の続きを書き、書き終わると6時。

今日の予定を確認。今夜中に北京空港入りの必要があるので、逆算して遅くとも20時半には会場を出るべきであると判断。まあドラフト3回は余裕で参加できると思うけど。

そろそろ6時半。朝食にするかなと着替えて部屋を出る。朝のバイキングに一番乗りで入ったものの…しまった、入れたものの料理がまだ十分できてない。パンや胡麻団子や春巻をつまんで待つがいかんせん料理が欲しいなあ…と思い10分ほどするとやっと「ごはん」な感じになってきた。最終的には卵とスープも加わってメロンとヨーグルトも入ったので、まあ18元なら上々だろう。



入り口のデカデカとした掲示を、これは何なのかと思いつげしげと読む。どうやら「この店は衛生ランクBと衛生局から認定されています」との掲示らしい。それをバイキング案内と同じサイズのでかい立看板で入り口に掲示するのか中国…。

会場入り

食事を終えて部屋に戻ると7時。会場入りは8時30分位でも良いだろうから、チェックアウトに備えて荷物の整理を始める。この宿はそんなに悪くなかったが、最後にトイレが詰まって不快感がだいぶアップしたのでいささかの減点かな。

ところで旅先のエロチェックは欠かさない自分であるが、XVIDEOなどはやはり当局から遮断されている模様。しかし日本の「XVIDEO なんとか」というサイトに接続してから、そこから動画を直接クリックするとどうやらすり抜けられることが判明（笑）

8時を回ったのでホテルを出る。なぜかタクシー2台に乗車拒否をされる（理由不明）も、3台目に乗って普通に大学。ただしホテルから近い東門でなく南門から入るつもりで指定したら、そこで止まらずぐるっと西門まで回られてしまった。料金は変わらず13元。

最終日イベント開始前の朝

つらつら西門から歩き8時40分過ぎに入場。くそう出遅れたか…と思うも、ドラフトの受け付けは9時からだったので無問題。本戦2日目ドラフトも間もなく開始するようで、ジャッジが準備をしている。

プライズウォール前に列。おそらくは本日はサイドイベントに参加しないのでチケットが確定した本戦組かな…と思ったらプライズが盛大に切れ始めている模様。実は狙っていたTシャツ200チケもすでに無くなっていた。ちなみに掲示してあるプライズリストは中文のみで英文はなし。なんだかなあ。



バイヤーブースを覗いたら目薬が売っていたのに苦笑。わかる。

今回の本戦プレイマットは人気がないんだろうなあ…と思って覗くと、お値段は50元。千円しないなら日本への土産に1枚買っていくのもありかな？と考えなくもなかったが、結局は見送る。たぶん関東リミッツなどで欲しがる人も、あまりおるまい。プレミアム用のウェザーライトのプレイマットは300元。こちらはお値打ち価格。

日曜ドラフト ポッド1

9時に受付が始まるなりエントリーして参加。

1-1 《名誉あるハイドラ》。緑スタートで。流れを見て
赤緑をチョイス。

《名誉あるハイドラ》*2
《媒介者の修練者》

獲得レア

2-1 下から《名誉あるハイドラ》が流れてきて吹いた。もちろん取った。

3-1 《媒介者の修練者》も取った。

Creatures: 17

《血に飢えた振起者》
《媒介者の修練者》
《苦刃の戦士》*2
《アンー門の壊し屋》
《ミノタウスの名射手》
《オナガトカゲ》*2
《頭巾の喧嘩屋》
《飛びかかるチーター》
《燃えさし角のミノタウルス》*2
《ハイエナの群れ》
《打撃場のマンティコア》
《名誉あるハイドラ》*2
《大いなるサンドワーム》

Spells: 7

《焼き尽くす熱情》
《マグマのしぶき》
《弱さからの脱皮》
《投げ飛ばし》
《活力のカルトーシュ》*2
《活力の試練》

Lands: 16

《山》*9
《森》*7

構築デッキ

Round1 yuさん OO

まあ勝ち

Round2 Zuさん 黒赤 O×O

G1 ハイドラ無双で勝ち

G2 よく回って負け

G3 回って勝ち

こちら《マグマのしぶき》で《戦慄の放浪者》を焼いて追放させようとする、相手は《超常的耐久力》でそれを生かそうとしたので「いやそれ墓地から戻る前に置換効果で追放されるので戻りませんよ」と説明してジャッジコールをして説明を促す。ちなみに呼ばれたジャッジも最初ミスジャッジした（笑）。最初のジャッジの誤った説明によりプレイヤーが《超常的耐久力》を打ったので、巻き戻して手札に戻すことに同意。

Round3 トス（スプリット）

今日は3回ドラフト遊びたいんだよね、ということでスプリットをもちかける。

このドラフトでは1位260ポイント+大祖始プロモ、2位120ポイントなので、これを200ポイントと180ポイント+大祖始プロモに分けましょう。勝敗は自分はPWPはもういいのでそっちの勝ちでいいです、ともちかけて合意。

相手はプロモを欲しがったので結果プライズ200ポイントをゲット。よっしゃー、幸先いいぞー。次いこう次。

日曜ドラフト ポッド23

11時40分にエントリーして、ほどなく成立。迷走の失敗ドラフト。タッチ4色。

取りレアもどうでもいいというか、こんなものしか引けず拾っている時点で終わってます。

白赤に一没して終了。さ、次いこ次。

《エイヴンの思考検閲者》
《ナクタムンの侍臣、テムメト》
《嘲笑+負傷》
《腹背+面従》

獲得レア



ドラフトの2回を終えると13時になったので、昼食のハム玉子サンドを買う。割合と具がみっしりの卵ハムサンドで、20元取るだけのことはある。

食事をしていると、以前に顔を見たことのある中国人ジャッジがトークンをくれた。1/1 絆魂の猫。

日曜ドラフト ポッド33

13時にエントリーし、ほどなく成立。

《試練に臨むギデオン》
《副陽の接近》
《戦慄の放浪者》
《腹背+面従》

獲得レア

1-1 《試練に臨むギデオン》 キター！即取り。

このため白の決め打ちではじめ、白黒ゾンビで組む。

しかし色々と酷いミスもあって、一没。

さ、次いこ次。無料券3枚はここままで次からは100元かかるが、惜しむほどではない。

日曜ドラフト ポッド 48

《媒介者の修練者》
《サンドワームの収斂》

14 時半にエントリーし、ほどなく成立したが、。本戦が 2 回目
ドラフト中のため会場マイクがしばらく使えずに、来ない 1 人を
しばらく待つ羽目になる。

獲得レア

ドラフトでは、色々と迷走したすでに白黒から白緑に変更。

こういうドラフトが強いためしがないのでまあ 1 没かな…と思って臨むと、対戦相手が
「すみません自分はこれでドロップします、あなたの勝ちでいいです」とのこと。
たなぼた勝利。とはいえ当然ながら 2 回戦では敗北で終了。

さ、次いこ次。

ドラフトたのしー。

日曜ドラフト ポッド 63

《試練に臨むギデオン》
《象形の守り手》
《過酷な指導者》

ただちに 16 時 20 分にエントリーし、しばし待つ。
所有チケットが 500 を超えたので、待ち時間にプライズ
ウォールでウェザーライトのプレイマットに変換獲得。
そうこうするうちに成立。

獲得レア

いい青緑が組めたのだがと思ったら相手の黒赤の方が強かった。
何よりこっちはまるでマナが伸びなかった。

ま、ギデオン引けたからいいかー(本日 2 枚目)。

あと《過酷な指導者》はベガスのバーンのサイドに欲しかった 1 枚。
これだからリミテッドはやめられません。さ、次いこ次。

日曜ドラフト ポッド 69

17 時 15 分にエントリー。

そろそろ速度が鈍ってきたし、このドラフトで終了かな。

《栄光の幕切れ》
《隠れた茂み》

獲得レア

赤緑で組む。土地が伸びず終了。

殴り合いのすえ相手のフルパンを《栄光の幕切れ》でかわして次のターンで殴って勝った際には脳汁が出たが、光ったのはそこまで。

これにてドラフト終了。 **1 日 6 回**もドラフトできて楽しかったあー！

最終ドラフトの待ち時間の 17 時半に、茶鴨が「チケット売ってくれませんか」と言う。まとめて価値を上げたうえアモンケット中文版を箱で貰うなどしたいらしい。こちらもアモンケットのブースターくらいしか欲しいものはもうないので応じる。数えてみたらまだ 240 チケットあった。ブースター 12 パックとすると 1/3 箱ぶん。定価ベースなら 3500 円というところだが…と交渉のすえ 190 元と引き換える。きりの良いところで 200 元にしろよと思わなくもなかった（笑）

会場を離脱し、ホテルをチェックアウト

18 時半に会場離脱。帰り際に通りがかりのナッシュやハンスとも話すが「次は神戸で」とは言えない身なので本戦席に居るリッカルドには声をかけない。QJ は見当たらない。

まだ明るいなか会場の南側でタクシーを拾う。一方通行ゆえ西に大回りする必要があったとはいえ、なんか 19 元も取られたぞ？ メーターに細工とかしてないか疑惑。

19 時、ホテルに戻る。一息入れて残り荷物を詰めてチェックアウトにかかる。

トイレの詰まりが直っていたのには驚いた。

荷物をまとめて部屋を出てカウンターにキーカードとデポジットの領収書を渡した後で、洗面所に歯磨きセットを忘れたことに気がついたので「忘れ物をしたので部屋に戻るからカードを返してくれ」と言うが2人とも英語がまったく通じない。しかし英語ができないのはまだしも、自分の居た部屋の方を指さしてから、手でカードサイズの四角形を作ってから手を差し出しても通じないというのは正直なところ理解力にかなり問題があるのではないかと。ていうかさ頼むから「キー」と「カード」くらいは英語を覚えてくれホテルのフロント業務なんだろう？

あまりの通じなさに次第にこちらもイラついて怒号交じりになるも、他の客がそれを聞きつけて中国語で通訳してくれて通じた。お礼を言って部屋に戻り、歯磨きセットを回収。デポジット返金 1200 元に朝食 2 回を差し引いた 1164 元を受け取って終了。

北京空港へ

19 時半にチェックアウトを終え重いスーツケースを引き健徳門駅へ。10 分ほどで到着。4 台ある切符の自販機がどれも紙幣を食べてくれない軽いジャブ。高額紙幣ならまだしも 1 元札が通らないとかどういうことよ？ セキュリティのおっちゃんに聞いたら「窓口で買え」と言われたので、セキュリティをってからその先の窓口で 4 元払って購入。

地下鉄 10 号で三元橋まで移動すると 20 時過ぎ。問題なし。三元橋で空港までのエクスプレスのチケット 25 元を買おうとしたら、こちらの機械は 20 元紙幣までしか受け付けない。幸いにして自分は小額の紙幣を持っていたので普通に買えたが、多くの客が同様のトラップで引っかかり窓口は長蛇の列。なんだかなー。

ほどなく来たエクスプレスに乗車して、20 時半に北京空港ターミナル 3 に到着する。空港 4F の出発フロアに長いエスカレーターで移動。

空港で夕食

インフォメーションで聞くと、やはり「明日 6 時 55 分発の吉祥航空のチェックインは朝 4 時から。それ以降に J17 カウンターへ行け」と言われる。まあ、しかたないね。

とりあえずあと 7 時間くらいは待つしかないようでもあるので、のんびり夕食にすべくフードエリアに移動してから真功夫（過去にも利用した「ブルースリーのそっくりさん」チェーン店 ※）に入り、セットメニューを注文。飲み物と合わせて 57 元は空港価格だなあ…と思わないでもなかったが、出てきた飯のボリュームを見て割と納得。

※<http://www.zkungfu.cn/>

うむ。これこそがパーコーと言える骨付きのがつつり肉。骨から歯で引き剥がして食べる。うまし。ここ何日かは米麺の中に入っている**謎肉**ばかりだったからなあ。



スープと茶碗蒸しも合格点だ。スープは鶏ガラのコラーゲンたっぷりの割とよくある味。舌がしびれるなんて言わないよ！

ともあれ納得の 57 元。21 時 10 分に完食して終了。まんぞく。

横のバーガーキングも気になったので明日の朝食にはどうかと思い営業時間を聞くと、24 時間営業でなく 6 時から 22 時半までとのこと。では見送りか。しかたないね。

朝までカフェ

腹も膨れた。あとは朝までどう過ごすかだ。

空港カウンター J17 で念のために吉祥空港ラウンジのことを聞くと、やはり「ラウンジは

あるのだがゲートの向こうだ」と言われる。まあ、そうだよな。

とりあえず時間潰しのため日記を書ける所はないだろうか…とも思ってスタバに入るも、ソファ席にコンセントなどが見当たらなかったので見送る。

別のカフェ（※）を発見したので店員に
「ノート PC の AC アダプタが使える席は、
ないだろうか」と聞くと、区割りがされて
いる奥の 4 人用？ソファ席を案内される。
を、これはいいね。さっそく作業を開始。
22 時前に入店してカフェラテ大を 33 円で
頼んでから PC を接続する。



※ <https://www.facebook.com/pages/Lei-Cafe/553712711325870>

…そういえば長居するつもりで大を頼んだのだが 23 時閉店で追い出されるのでは…と
思って聞く（最初に確かめろよ）とここは「24 時間営業」とのこと。ビンゴだ。

このソファ席には枕になりそうなクッションも置いてあるし、これはどうやら「仮眠して
いいのよ」な感じの店構え。ありがたい。これはたっぷりオーダーして、朝までゆっくり
させて貰うことにしよう。PC を起動し、今日のマジック日記を書き始める。

22 時、室内のメイン照明が落ちて店全体が薄暗くなる。ああ、これはいよいよ「仮眠し
ていいのよ」モードである模様。とりあえずはマジック日記を書き終える。

日付が変わる頃にトイレに行き、追加のドリンク 38 元と、ハーゲンダッツ 35 元を投入。
そして遅まきながらこの時点で、このソファのある区画は**カーテンが閉められる**と
いうことに気がつく。

ををっ！ほぼ完ぺきな個室の仮眠空間だなコレ。
あるいはカップルで入ったらアレコレできる個室
空間として設計されているのかもしれない。

この店は本当に当たりだったよなあと思いつつ、
荷物の整理も開始。那覇で自宅に宅配する予定の
マジック関連の荷物を宅配袋に詰める。着替え類
なども整理する。

することもなくなったので2～3時間ほど仮眠を
試みることにする。ぐう。

…2時間ほど仮眠。とはいってもものの正直なところ浅くしか眠れてない。2時間横になった
感想としては、目を閉じて横になれるだけでもHPはそこそこ回復するがやはり質の良い
睡眠とは言い難いので眠くなければ無理に寝ることもない感じ。

あとけっこう暑い。寒いよりはマシだが、下着がぐっしょり。半個室であるのを幸いに、
上は脱いで着替える。午前2時半。トイレに行ってアイスレモンティーを注文。25元。
そのままだらだら日記の原稿起こしをしたり、ネットを読んだりする。



GP 北京のカバレージが出ていた（※1）。優勝は逃したもののトップ8に日本人5人か。
やりよる。そして日本人が1割以上いた模様（※2）。あと1勝頑張れば、初日通過組と
して名前がここに載ったのだなとも。まあ日曜のドラフト6回楽しかったけどね。

※1 <http://coverage.mtg-jp.com/gpbei17/>

※2 <http://coverage.mtg-jp.com/gpbei17/article/018732/>

2017年5月8日（月）　まずは上海へ

昨日の分の日記をまとめていると4時。遠くでピンポンパンポーン音が。カウンターが開いたようだ。よし、日記を全部書いたら店を出よう。6時55分発の上海行きに乗るには、まだ急ぐ必要はあるまい。というよりこの快適空間を急いで手放したくない（笑）。日記を書き終え、荷物をまとめる。カウンターの店員に「ここは朝まで過ごすうえで実に快適でした。**友人にも勧めたい**」とお礼を言って離脱。

搭乗手続きを終える。荷物は那覇に直送でなく自力で虹橋空港から浦東空港まで持参する必要があるとのこと。仕方ないね。何事もなくセキュリティを通過して6時55分に離陸して9時50分、上海虹橋空港に到着。

荷物を回収したうえで、上海浦東空港への移動のための直通シャトルバスを探し、これもほどなく発見できたので30元支払って乗車。

バスに1時間くらい乗り（予想より距離があったな…）、12時に上海浦東空港に到着。まあ、ここまでは順調でした。

那覇空港でのドタバタ

上海浦東空港で搭乗手続きを終え、セキュリティと出国手続きを終え、昼食を済ませて、あとは15時（日本時間16時）に離陸し那覇に18時10分に着いてから、那覇で20時50分発の台北行きのエアチャイナに乗れば終了…なのですが、ここにきて吉祥空港が**1時間半の遅延**。ここで乗り損ねた場合に、新たにミャンマー行きの便を買いなおす必要があるのか、それは数万円くらいかかるのだろうか、これは自己責任扱いかもしれないのでその場合に会社から補助が出るのだろうか…とか考えて真っ青になる。

結局、那覇空港には19時半に到着。競歩で空港内を移動しイミグレは瞬時に通過できたものの手荷物待ちで19時50分。残り時間1時間を切った。ここでノコノコただ待つて

荷物が来てからチェックインカウンターに移動したらたぶんアウトだったので、係員に「20時50分発の台北行きエアチャイナに乗るのですが、前の便が1時間半遅れてピンチです。エアチャイナに連絡して待つよう伝えていただけませんか」と依頼。即座に係員は無線でエアチャイナに連絡。

さらに自分の荷物がなかなかなかなか出てこなかったなのでこの係員は「先にカウンターに照会しておきますのでパスポートを貸してください」と預かり済ませ、それを済ませてまだまだ荷物が出てこないで「自分が裏で探しますのでカバンの特長を教えてください」と言って荷物番号付きの半券を預かり、結局その係員が荷物を発見。

さらにエアチャイナのカウンターまで案内してくれて（その人の手引きで、関税も横から秒でスルー）エアチャイナのカウンタまで到着。間に合ったあ！！！！

圧倒的感謝。他人の情けにすがって生きてます自分。

台北空港で夜明かし

無事にエアチャイナ台北行きのゲートに到着（実のところまだ他の乗客の搭乗が終わっていなかったくらいに結果的には余裕があった）して、定刻通りに台北へ。

那覇から台北まではわずか1時間ほどであり、21時（日本時間22時）に到着。台北への入国の必要はないのでトランスファーからただちに構内に移動。

まずは台北桃園空港の無料シャワー（そういうのがあるのだ）で2日ぶんの汗を流して（日曜夜に特にホテルではシャワーを使わなかったので2日ぶり）さっぱりする。

ラウンジの利用も一応考えるも、1万～2万円くらいはかかるようなので普通にパスして、フードコートに座って機内で貰ったサンドイッチと水をもぐもぐごくごく。そのままPCなどに触って時間を潰していたら、23時にフードコートが終了した。

そのまま空港内の無料の水だけで朝までしのいでも良かったのですが、やっぱりジュースくらいは飲みたくなるし台湾元はどうせ来年にでも使うあてはあるということで ATM で 1000 元だけおろした（この際なので利息は気にしないことにしよう）。

しかしおろした後で 1000 元札 1 枚では自販機飲料などは買えない、とも気がついたので小銭のため何か買い物をしようかと考えるも、フードコートは閉まってしまったし構内にコンビニはなく、まだ開いているのはくそ高い免税店だけで、1000 元を出してまともに釣り銭を貰えそうなものもない。そもそも買いたいものもない。

どうしたものかと考えると目の前に閉店支度をしているレストランがあったので、店員に話しかけて「すまないがこの 1000 元を小銭含めで両替してくれないか」と頼んで、快諾して貰う（売上袋をいまいちど開けてもらった）。他人の情けにすがっています自分。

これで自販機の飲料は自由に飲めるようになったので、飲んで落ち着いてから A6 ゲートへと移動（実は歩いて 20 分くらいかかる遠さです）。

そして日付が変わる頃に A6 ゲートのソファで横になって、そのままぐっすり 4 時間ほど睡眠を取り（今度は眠れました）、4 時過ぎに起きて 7 時にマンマーへ旅立ち。

ここからは自分のマンマーでの生活が始まるわけですが、さすがにもはや GP 北京とは何も関係がないので、いつもの「おうちに帰るまでが GP です」という締めフレーズは今回は使わずに、ここまでにしたいと思います。

(完)

今回の教訓：

今回の GP 北京 2017 は、まあかつてない位のトラブルの連続というか、まあ実際に「ほとんど何もまともな市内観光ができなかった」という、割と個人的には反省する点の多々あったものでしたが、改めて振り返るとやはり大きな**準備不足**があったというか、まともに準備していればもう少しマシだったよなとしか言えません（笑）。

最たるものは、やはり中国では「Google が使えない」という事実をきちんと踏まえたうえで、まともに事前に対策をしておくべきでした。まあ「香港 SIM があれば普通に Google も使えるらしいから何とかなるだろ」と踏んでその香港 SIM を忘れたといった失敗があったわけでもあるのですが、香港 SIM が期待通り動作しなかった際の対策もまともに用意しておくべきでしたね。金盾をなめちゃいかん。

具体的には、やはり**ホテルの住所（漢字）をプリントアウトしておく**とかいう基本はやはり大事。実際、初日のドタバタはいま思い出しても冷や汗が出ます。あと、紙の地図が現地で入手できない可能性というのも考慮していなかったのですがやはり**日本の観光ガイド本**のようなものも一冊は持っていくべきでした。

※まあこれも事前に購入した筈のものが自宅で紛失したりとかあったのですが。

またこれは後で知った話ですが、金盾があっても使用できる現地の方々の使っている**地図アプリ**というものが存在していたので、そもそもコレの存在を知っておいて、あらかじめスマホにダウンロードしておけば今回のようなトラブルは何もなかったと言うこともできるのです。ダメダメじゃん俺（笑）。まあみなさまは準備を怠りなく。

※百度地図 <http://map.baidu.com/>

<http://otakutalker.diarynote.jp/> (ダイアリーノート。マジック関連はここで)